

安保法成立

朝日新聞

「闘いこれから」 市民・野党議員ら抗議

与野党の激しい攻防の末、安全保障関連法が19日未明に成立したのを受け、富山市内で同日午後、市民や野党議員らによる抗議活動があった。

午後1時、富山市西町のグランドプラザ前では、県平和運動センターの山崎彰議長や社民党の県議、富山市議らが「法案が可決されても、抗議する取り組みを

やっつけていこう」などと演説。集まった約40人の市民は沿道で「戦争させない」「9条壊すな」などと書かれたプラカードを掲げ、通行する人に訴えた。

山崎議長は、法案が可決されるまでテレビ中継を見守ったといい、「通ってしまうとは思ったが、県内でもデモが広がり、みんな真剣に心配していることがわかった。これから闘いの始まり」と話した。今後、月に2回ほど集会とデモを続けていく予定という。



街頭でプラカードを掲げ、安保関連法成立に抗議する市民。富山市西町



安保法の廃止を訴える参加者たち。19日午後、富山市の絵曲輪フェリー前で

反対運動「これから」富山で街頭

富山市内でも19日、安全保障関連法廃止を訴える政府への抗議活動があった。一方、県民からは「国を守る」という点では必要」と成立に理解を示す声も聞かれた。

県内賛否の声

が行き交う富山市西町では山崎彰同センター議長、岡崎信也県議、村石篤富山市議らがマイクを手に「平和な日本を守り抜くため、これからは戦いだ」と主張した。一方、「戦争させない」と書いた紙を手にアピールした富山市茶室町、無職、谷岸孝士さん

安保法に抗議する緊急の街頭宣伝活動が十九日、富山市内三カ所で行われ、市民ら約四十人が「アベ、政治を許さない」などと書かれたプラカードを胸に安倍政権を批判した。富山県平和運動センターなどが主催。市中部の絵曲輪フェリー前では、センターの山崎彰議長が「与党は自衛隊員の思いや国民の声を一切聞かず、夜中に勝手に法律を通してしまった」と激しく批判。参院で審議入りして以降、反対の音が幅広い年代層に広がっていると指摘し「保守的な富山で反対運動がこれだけ盛り上がると思わなかった。これが始まり」と、継続した運動を呼び掛けた。

村石篤富山市議もマイクを握り、参加者たちは「安保法廃止」「九条守れ」「憲法を守って戦うぞ」などとシュプレコールを繰り返した。街頭は呉羽町、婦中町下懸田でもあった。(伊勢村優樹)

「憲法違反で無効」

買ひ物客に関連法廃止を訴える人たちが富山市西町



「国を守るため必要」

県民の注目度も高かった。高岡市吹上古府、無職、熊田昇さん(87)は「憲法を無視している」として、法案を成立させるな」とも議論を重ね、憲法を愛するからというべきだ」と指摘する。一方、理解を示す声も聞かれた。魚津市大光寺、会社経営者金三津貢さん(77)は「国を守る」という点では必要だ」とも、中国や朝鮮半島の動きを考えると、日本が毅然とした姿勢を見せたほうがいい」とも言う。

「強行採決」に抗議

県平和運動センター(山崎彰議長)は19日、安全保障関連法成立に向けて与党が採決を強行したとして抗議声明を公表した。声明は「民意を無視し、国民を軽視するやり方は決して許されない」と安倍政権を批判。「平和を愛する民主主義を尊ぶ多くの市民と兵に闘いを続ける」とした。

県弁護士会も抗議

県弁護士会(水谷敏彦会長)も19日、安全保障関連法の成立に抗議する声明を出した。今回の法整備を「実質的に憲法9条を改変するものであり、立憲主義に反する」と指摘。「国民世論を押し切った採決が強行されたことは遺憾であり、本法の発動を阻止し、廃止することが求められる」とした。